

リーディングDXスクール事業【実践事例】

伊是名村立伊是名小学校

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る学習支援ソフトの活用（1）



支援が必要な児童については、担任や学習支援員が支援に当たり、児童の学習のサポートを行う。



課題を解決したら、説明を文章化しペアやグループで説明し合う。



学習のまとめとして、教師が準備したプレートカードに自己評価、まとめ、学習での気づきを記入し、クラス内で共有する。

＜成果および課題等＞

- 個々の特性に応じた学習方法を児童が主体的に選択できるようになった。これにより、課題解決中は個別的な学習と協働的な学習が並行して行われるようになった。
- 個での学習においても、最終的には学習支援ソフトを活用し、思考を共有化することができるようになった。
- ▲「個別最適な学び」と「協働的な学び」をより一体化するための方策を研究する必要がある。

授業実践ビデオについて

本校では、「教育関係者及びリーディングDXスクール事業関係者のみに公開する」という条件のもと保護者に公開許可をいただいております。視聴希望される方は

<http://izena-sho.izena.ed.jp/category/dxschool/>
よりリンクされています、視聴申請フォームよりお申し込み下さい。